

《報道関係各位》

2018年4月26日

アイフルホームCMキャラクター「山崎 賢人」さん出演の 新CM「お家へ帰りたい」篇 4月29日(日)よりオンエア

株式会社LIXIL住宅研究所
アイフルホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所 アイフルホームカンパニー(住所:東京都江東区 / 代表取締役社長: 今 城幸)は、アイフルホームのCMキャラクターである俳優の山崎賢人さんによる新CM「お家へ帰りたい」篇を制作し、4月29日(日)より放映開始します。

また、先行して4月26日(木)より「アイフルホーム」公式サイトにおいてTVCMを公開します。



今回のCMは、山崎賢人さん演じる若き建築家が、次回建築のアイデアについて考えを巡らせるストーリーです。ふと隣の親子の会話を耳にして、「帰りたくなる家ってなんだろう」と浮かんだアイデアをノートに描き始める。浮かんできたアイデアは、アイフルホームが「安心して子育てが楽しくなる家」を目指して取り組んでいる「キッズデザインの家づくり」であることを伝える内容となっています。

新CM「お家へ帰りたい」篇は、オンエアに合わせてアイフルホームWEBサイト内でメイキング映像と一緒に公開します。アイフルホームの家づくりのキーワードとなる『キッズデザイン』の取り組みと、山崎さんのコラボレーションを是非お楽しみください。

楽曲は、シンガーソングライターとしての活動を休止したyuiが自身がリスペクトするプレイヤーたちに声をかけ結成したバンドFLOWER FLOWERの「時計」を採用しました。

アイフルホームは、時代やお客様の变化を敏感にとらえ、その時々最良のものを提供できるよう“3つのMORE”を掲げて事業に取り組んでいます。「より良い家を(More Quality)、より多くの人に(More People)、より合理的に(More Rational)提供する」。これを実現することで、全ての人が安全・安心、健康で豊かな人生を過ごせることを目指し、家づくりに取り組んでいます。

サイトURL : <http://www.eyefulhome.jp/event/tvcm/>

【報道関係者のお問合せ先】

㈱LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明

電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com

アイフルホームホームページ/TOP URL:<http://www.eyefulhome.jp/>

本ニュースリリースは、本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にて、広報発表しています。

(参考資料)

■ CM詳細 ■

1. CMタイトル 「お家へ帰りたい」篇(15秒、30秒)

2. CMストーリー 新たな建築のアイデアを考える若手建築家が、隣の親子の会話から子育てが楽しくなる家のアイデアを思いつきます。ノートに描き出したアイデアは、アイフルホームが取り組む『キッズデザインの家づくり』であることを伝える内容となっています。

3. スケジュール 放映開始日 2018年4月29日(日)～5月5日(土)
放映エリア 全国(一部地域を除く)



4. 楽曲 FLOWER FLOWER「時計」

■ 出演者プロフィール ■

山崎 賢人

1994年9月7日生まれ(23歳)。東京都出身

2010年に俳優デビュー。近年の出演作には、NHK連続テレビ小説『まれ』、ドラマ『デスノート』、『好きな人がいること』、『陸王』、『トドメの接吻』、映画『四月は君の嘘』、『一週間フレンズ。』、『ジョジョの奇妙な冒険 ダイヤモンドは砕けない 第一章』、『斉木楠雄のΨ難』、『氷菓』などがある。2018年6月には映画『羊と鋼の森』が公開予定。

■ 楽曲提供者プロフィール ■

FLOWER FLOWER

2012年、シンガーソングライターとして活動を休止したyui (Vo. Gt)が自身がリスペクトするプレイヤーたちに声をかけ結成し、2013年ライブ活動を開始し、アルバムデビューした。その後、yuiの体調不良や、結婚、出産などにより、活動は緩やかになっていたが、少しずつ制作を続けていたが、2018年3月に2ndアルバム「スポットライト」を発表した。



■アイフルホームについて■

アイフルホームは、多岐にわたる建材・設備機器及び幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業である株式会社LIXIL グループの一員であり、株式会社LIXIL住宅研究所内の1ブランドです。1984年、「住宅は高嶺の花」と言われた時代に「よい家に住みたい」という万人の願いをかなえるべく、誰もが安心して住宅を手に入れられる住宅のフランチャイズシステムを開発し創業しました。事業コンセプトは、「よりよい家を ”More Quality”」、「より多くの人に”More People”」、「より合理的に ”More Rational”」を提供していくという「3つのMORE」です。